

令和8年度 学校経営計画書

学校番号	12	学校名	静岡県立袋井特別支援学校	校長名	滝口 晃央
------	----	-----	--------------	-----	-------

1 目指す学校像

(1) 教育目標

自ら光る子を育てる ～自分のよさを磨いて豊かに生きる～

一人一人には それぞれかけがえのない「よさ＝光」がある。
 ① 今、持っている「よさ」(光)を伸ばす、深める、広げる…
 ② そうすることで、新たな「よさ」(光)となり、自分のものとなる。
 ③ その自分自身に身に付いた「よさ」(光)を磨いて、自分らしく豊かに生きる。
 その姿が「自ら光る子」

(2) 目指す児童生徒像

- 【小学部】 自分から進んで活動する子
- 【中学部】 「任せて」と自信を持って活動する子
- 【高等部】 自らを磨き「自己実現」を図る子
- 【肢体不自由・訪問教育】 自分らしく「人」「もの」「社会」に関わり豊かに生きる子
 ～「いつでも」「どこでも」「誰とでも」活動し、表現する～

(3) 目標具現化の柱

- 【安全・安心】 命を守り、人権を尊重した安全・安心な学校
- 【子ども主体の授業】 児童生徒が主体的に学び、一人一人の良さを引き出す学校
- 【連携】 家庭や地域、関係機関と協働し、児童生徒の自立と社会参加を目指す学校

2 本年度の取組 (重点目標はゴシック体で記載)

	取組目標	達成方法 (取組手段)	成果目標	担当部署
安全・安心	未然防止の行動力と有事への対応力の向上	<ul style="list-style-type: none"> ・日常的な事故の原因の把握及び情報の共有 ・実際のニーズに即した訓練、研修の実施 ・健康及び安全に配慮した学習環境の設定 	<ul style="list-style-type: none"> ・ヒヤリハットの情報を自分事としてとらえ、具体的な予防策に取り組むことができた。 ・有事の際の自分の役割や行動を具体的に想定できた。 	危機管理課 生徒指導課 保健給食課 総務課 各学部
		<ul style="list-style-type: none"> ・安全な医療的ケアの実施における教員、看護師及び医療機関等との効果的な連携 	<ul style="list-style-type: none"> ・平時、緊急時の自分の役割を理解し、協働して安全な医療的ケアを実施できた (担当教職員) 	保健給食課
	<ul style="list-style-type: none"> ・事務部と各学部及び分掌の緊密な連携 	<ul style="list-style-type: none"> ・各学部及び分掌と連携し、柔軟で効果的な予算執行ができた (事務職員) 	事務部	
	自他を尊重し合う意識の醸成	<ul style="list-style-type: none"> ・人権に配慮した適切な児童生徒への接し方について確認し合う機会の設定 ・児童生徒が互いの良さを認め合う場の設定 	<ul style="list-style-type: none"> ・自他の人権意識を尊重した指導を行うことができた。 ・児童生徒の自己肯定感を高める指導ができた。 	生徒指導課 各学部

	取組目標	達成方法（取組手段）	成果目標	担当部署
子ども主体の授業	主体的・対話的で深い学びを実現するための授業実践	・校内(班別)研修の推進による授業力の向上	・児童生徒が授業に主体的に取り組み学びを実感する授業を实践できた。 ・研修会等での学びを自らの指導に役立てることができた。	研修課 自立活動課 体育課 各学部
		・ICT 機器（タブレット端末、入力補助具等）や AI の積極的活用	・児童生徒の支援・指導に ICT 機器や AI を効果的に活用することができた。	図書情報課 自立活動課
	12 年間の積み上げる授業実践	・児童生徒の実態や指導の系統性（キャリア発達）に基づいた指導の実践	・個別の教育支援計画（指導計画）や全体計画（指導内容表）を授業作りに生かし、発達段階に応じた指導をすることができた。 ・キャリアパスポート等をいかし、児童生徒に自らの成長と目標を意識させる指導ができた。	学習支援課 進路指導課 教務課 研修課 各学部
	互いに高め合える教職員集団の構築	・キャリアステージ研修の推進（スタートアップ研修、袋特版 O J T の推進等）	・指導について気軽に相談し合えることができた。 ・自ら専門性の向上に努めることができた。	学習支援課
連携	保護者、関係機関、地域との連携・協働体制の充実	・地域資源を生かした教育活動の実践（学校間交流、地域交流等） ・本校の教育活動の発信（ホームページ、作品展等）	・地域での活動を児童生徒が自信を深める場として活用できた。 ・児童生徒の良さを地域に伝えることができた。	支援連携課 学習支援課 図書情報課 各学部
		・保護者や関係機関と連携した支援体制の充実	・保護者及び必要な関連機関と連携し、支援の充実を図ることができた。	支援連携課 進路指導課 各学部
		・特別支援教育のセンター的機能の充実	・特別支援教育について、ニーズに応じた助言や説明をすることができた（担当教員）。	支援連携課
業務改善	業務の効率化と時間外勤務の削減	・教育活動や業務の目的の再確認による精選、効率化	・業務の目的を再確認し、実効性のある業務効率化と精選を行うことができた。（各学部、学年、分掌）	各学部、学年、分掌
		・完全退庁時刻の徹底に向けた意識付けと環境整備	・業務の効率化を図り、完全退庁時刻（原則 19 時、水曜日 17 時 30 分）までに退庁できた。	管理職
『声を出し、つながる教職員』 一人一人が自らの強みを発揮し、仲間と協働しながら、主体的に学校経営に参画する				